

主題：神の家また神の都としての召会を建造するための 主の回復の内在的な意義

メッセージ 4

神の祭壇——全焼のささげ物の祭壇を再建する

聖書：エズラ 1:2-3, 5. 3:1-6 前半. 詩 43:4 前半. エペソ 5:2. ローマ 12:1

I. 「彼らはイスラエルの神の祭壇を築いて、その上に全焼のささげ物をささげた。神の人モーセの律法に書かれているとおりでである」——エズラ 3:2 後半：

A. 家の回復のためには、祭壇の回復を必要とします—— 1:2-3, 5. 3:2-3：

1. わたしたちは神の満足のために、持っているもの、わたしたちであるものをすべて祭壇の上に置かなければなりません。そうでないと、召会生活を持つことは不可能です。
2. 召会生活のために回復されるべき最初のは祭壇です——ローマ 12:1：
 - a. 召会生活を持つには、すべてを祭壇の上に置かなければなりません——詩 43:4 前半。
 - b. わたしたちは神の満足のために、持っているもの、わたしたちであるもの、できることをすべて、祭壇の上に置かなければなりません。これが召会生活の開始です。
3. 問題は、わたしたちがバビロンからエルサレムに戻ってきたのに、エルサレムで自分の権益のために、まだ多くのものを保持していることです。わたしたちは神の権益のため、神の満足のために、すべてを祭壇の上にささげていないかもしれません——ローマ 12:1：
 - a. わたしたちはエルサレムに戻って来て、しかもバビロンでのような生活を維持すべきではありません。
 - b. エルサレムでの生活は、絶対に主の権益のためでなければなりません。

B. 全焼のささげ物の祭壇は、キリストの十字架を予表します——出 27:1. 40:6. ヘブル 13:10：

1. 神は彼のエコノミーの中で、一人のパーソン、キリストと、一つの道、十字架を与えます—— I コリント 2:2：
 - a. 十字架は神のエコノミーにおける活動の中心です——ガラテヤ 1:4. 2:19-21. 3:1, 13. 5:24. 6:14。
 - b. 神は十字架によってすべてのことを支配し、十字架によってすべてのことを対処します——コロサイ 1:20-22. 2:11-15。
2. 十字架はすべての霊的な経験の基礎、土台です。すべての霊的な経験は十字架から始まります——ガラテヤ 2:20. 6:14. I コリント 2:2：
 - a. 霊的に進歩するためには、日ごとに十字架を経過する必要があります——マタイ 10:38. 16:24. ルカ 14:27。
 - b. 正常な召会生活を持つためには、十字架を経験する必要があります——エペソ 2:14-16。
 - c. 十字架を通して、わたしたちは無となり、何も持たず、何もできなくなる必要

があります。そうでないと、わたしたちであるもの、持っているもの、できることは、キリストの代替となるでしょう——I コリント 1:17-18, 23。

II. 「彼らは全焼のささげ物をエホバにささげ始めた」——エズラ 3:6 後半：

A. 全焼のささげ物は、キリストが神の満足のために絶対的であることを表徴します——レビ 1:3-9：

1. 全焼のささげ物は、完全に神の満足のためであり、神の喜び、満足としてのキリストを予表します——エペソ 5:2。
2. 全焼のささげ物はキリストを予表し、彼は神のために完全で絶対的である命を生きただけでなく、神の民にそのような生活を持たせることができる命でもあります——ヨハネ 5:19, 30. 6:38. 7:18. 8:29. 14:24. II コリント 5:15. ガラテヤ 2:19-21。
3. 全焼のささげ物はキリストご自身であり、わたしたちは彼と一です。ですから、全焼のささげ物は、わたしたちがキリストと一であることでもあります——I コリント 6:17。

B. 全焼のささげ物は神の食物のためであり、神はそれを享受し満足します——民 28:2：

1. 神は全能ですが、ご自身を食べるものとして備えることはできません。彼の食物は彼の民から来なければなりません——2 節。
2. キリストは神の食物ですが、彼は直接、神の食物なのではありません。むしろ、キリストは、わたしたちが神に給仕する神の食物です。

C. 全焼のささげ物は、「エホバを満足させるかおり」です——レビ 1:9, 13, 11, 17：

1. 「全焼のささげ物」のヘブル語は、文字どおりには「上って行くもの」を意味し、神に昇るものを示します——3 節。
2. 満足させるかおりは、満足、平安、安息をもたらす香りです。そのような満足させるかおりは、神にとって享受です。
3. キリストは神の満足のために絶対的であった命を生き、彼の生活は満足させるかおり、神の喜びと満足のために神に昇る甘い香りです——エペソ 5:2。
4. 全焼のささげ物を焼くことは、甘い香を焼くことです——出 30:7-8. レビ 16:12-13。

D. 灰は、減少させられて無になるキリストを表徴します——6:10. マルコ 9:12：

1. わたしたちは、減少させられて灰となったキリストと一ですから、わたしたちも減少させられて灰、すなわち、減少させられて無、ゼロとなります——I コリント 1:28。
2. 灰を祭壇の東側、日の出の側に置くことは、復活の暗示です——レビ 1:16. ヨハネ 11:25. II コリント 1:9。
3. キリストの死は復活をもたらし、復活の中で灰は神の建造のために尊い材料となります——I コリント 3:9 後半, 12 前半。
4. 新エルサレムの建造のための尊い材料は、灰の造り変えから来ます。ですから、最終的に、灰は新エルサレムとなります——ローマ 12:1-2. II コリント 3:18. 啓 21:18-21。

E. 全焼のささげ物は、わたしたちがこの時代に神のために絶対的である心を持っていることを示します。わたしたちは他の何のためでもなく、他の何の権益も持ちません——ローマ 12:1。